

○「新体制の農業委員と最適化推進委員で地区定例会のスタート」
 (京都府京丹後市丹後地区定例会)(令和元年度7月)(第11回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

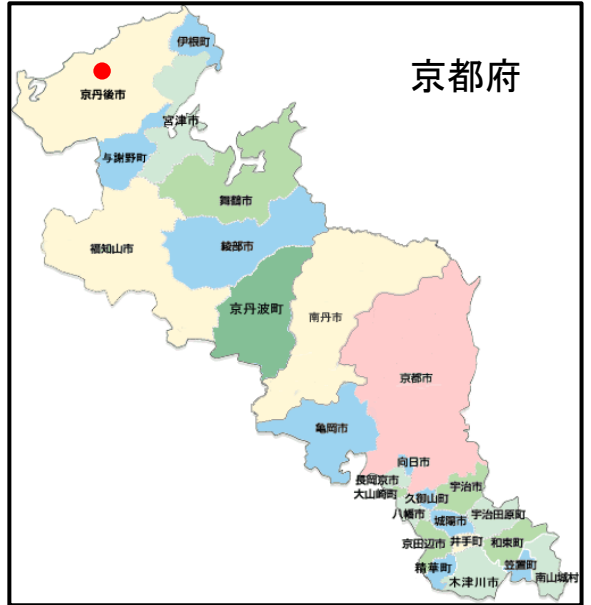
遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年7月8日 18:00~19:00
- 場 所: 京丹後市役所丹後庁舎202会議室
- 出席者: 委員2人、最適化推進委員3人(欠席1人)旧推進委員3名
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 竹野川両岸の水田地帯と沿岸の水田農業が中心
- 大規模経営法人と担い手農家による水田経営が展開されている
- 宇川地域で再び場整備事業がスタートして受けて法人の設立が課題

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 定例会審議案件(5月・6月)の概要報告
- 新旧の委員さんの事務引継及び活動用品の引継調整
- 丹後地区定例会の農業委員の正副代表と最適化推進委員の正副代表の選考・決定
- 丹後地区定例会の重点地区の協議決定(久次区と荒山区)
- 丹後地区定例会の目標として、町内農事役員さん等との意見交換会の開催

- 4 活動結果
- 情報・意見交換 1 時間
 - 担い手への集積 a 増加
 - 遊休農地面積 a 解消
 - 新規就農者 人 支援